



関西学院初等部
KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

| 2024年度 学校案内 |



16年にわたる 一貫教育の第一歩

“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成をめざして

関西学院では初等教育から大学・大学院までの16年間を通して、
スクール・モットー“Mastery for Service”の精神を鍛え、それを体現する人材の育成をめざします。
初等教育は一貫教育の第一歩。多様な学び、そして他者とのかわりの中で、
将来社会で活躍するために必要な土台を築きます。

スクール
モットー

“Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

ミッション
ステートメント

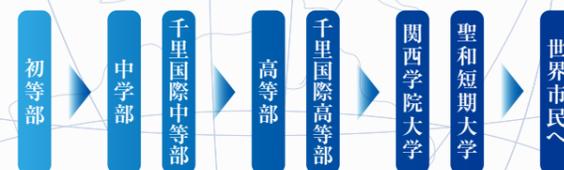
関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見いだせるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

めざす
人間像

“Mastery for Service”を体現する世界市民

世界を視野におさめ、人への思いやりと社会変革への気概をもち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志をもって行動力を発揮する人。

関西学院
一貫教育
の流れ



一貫教育を支えるキリスト教の教え

関西学院の一貫教育では、キリスト教主義に基づいた全人教育を展開しています。初等部では毎朝の礼拝や聖書の時間を通して子どもたちの豊かな心を育成。数多くの教えの中でも、初等部で特に大切にしているのが「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」(ルカによる福音書2章40節)という言葉です。この言葉には、神の豊かな恵みと愛に包まれて、心も体もたくましく成長してほしいという、初等部で学ぶ子どもたちへの深い思いが込められています。



意志

高い倫理と
自立の精神を
備えた子ども

情操

感性豊かで
国際性を
備えた子ども

知性

論理的に考え
確かな学力を習得
する子ども

初等部聖句

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」

新約聖書ルカによる福音書 2章40節

初等部から 世界を導く 存在へ

社会でさまざまな変化が起こり、世界全体が不安定な状況を迎えている現在。人々はあらゆる垣根を越えて、他者に寄り添い、共に歩むことを必要としています。創立者のウォルター・ラッセル・ランバスの理念と精神を表すスクール・モットー、“Mastery for Service”。初等部では「社会と人のために、自らを鍛える」と訳され、子どもたちの高い倫理観や豊かな感性、国際感覚、そして他者に寄り添う奉仕の精神を育むための土台として伝えられています。“Mastery for Service”を体現することが、まさに今世界で求められている人材になることであり、初等部から羽ばたいていく子どもたちはこれからの時代を導いていく存在となるでしょう。

学校法人関西学院 院長 中道 基夫

関西学院は幼稚園から大学・大学院を有する総合学園であるとともに、卒業生の皆さんとのつながりも大切にしている生涯教育機関です。そのめざすところは「Mastery for Service」を体現する世界市民」の育成であり、その実現のために関西学院ファミリーが一体となって協力しているところに教育の特徴があります。もう一つの関西学院の教育の特徴は、キリスト教に基づいた人間理解です。人間は、からだ・こころ・魂によって成り立ち、この3つが満たされてこそ健康であると言えます。聖書に「人が独りであるのは良くない」（創世記2章18節）とあるように、人とそして自然と共に生きることによって私たちの幸福が実現します。この二つの根底にあるのが、「あなたは愛されています」という聖書の言葉です。子どもたちが、関西学院ならではの教育に出会ってくださることを願っています。それは、子どもたちの魂に生涯消えることのない光と暖かさを与えてくれるでしょう。



関西学院初等部 部長 小谷 正登

1889年、原田の森（現在の神戸市灘区）に生徒19人教師5人で始まった関西学院は、現在8つのキャンパスに保育園から大学・大学院、インターナショナルスクールなどを擁する総合学園となり、国籍・年齢・性別を超えて多様な人々にそのニーズに応じた学びを提供しています。そして、社会の激しい変化に対応する上で、その重要性が再認識されている初等教育を担う初等部は、本学院のキリスト教主義に基づく全人教育をその礎として支えています。また、実用的な学びの意味に留まらず、わかること、できるようになること自体に喜びを感じながら文化的に豊かになり、さらに新たな次元・領域の世界を創造することなど、多様な意味を備えた学びを用意しています。この豊かな学びを通して、自分自身の価値を見出し、その価値観を大切にしつつ他者も尊重し導いていくリーダー、そして関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を体現する世界市民に、子どもたちを育成する場が初等部です。



関西学院初等部 校長 大西 宏道

関西学院は、1889年（明治22年）創立の伝統ある学校です。スクールモットー“Mastery for Service”（奉仕のための練達）は建学の精神を表し、初等部では「社会と人のために、自らを鍛える」と訳しています。初等部は創立16年と関学ファミリーの中では歴史の浅い学校ですが、昨年度から第1期生が大学を卒業し、社会人となり、活躍しています。第1期生のみなさんは、初等部時代から培われてきた建学の精神を発揮し、“Mastery for Service”を体現してくれるでしょう。社会の大きな変化により、今、人々は先の見えない不安の中にいます。しかし、新約聖書にはこう書かれています。「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。（ローマの信徒への手紙5章3～5節より）」。社会人になった1期生は苦難に遭うことでしょう。しかし、関西学院で培った忍耐力で希望を見いだしてくれることでしょう。この希望の種こそが初等部の子どもたちです。子どもたち一人ひとりの持てる力を大切に育むのが、関西学院初等部の教育です。



関学 4 つの柱

聖書・礼拝

Bible

礼拝や聖書の時間を通じて、人を思いやる気持ち、小さなことに感謝できる心を育む。

国際理解

Global

英語力を高め、コミュニケーションを楽しみながら、異なる価値観の獲得をめざす。

全員参加・理解

Universal

みんなで主体的に問題解決を図りながら、確かな学力の獲得をめざす。

本物

Authentic

文化、スポーツ、芸術、自然に触れる機会を通じて、豊かな感性を育む。



Bible | 聖書・礼拝 |

人を愛し、愛されるリーダーへ。

こころの時間



毎朝の礼拝から、
人や社会を思いやる心を育む

全校児童と教職員がチャペルに集い、讃美と祈りをささげ、聖書の御言葉に耳を傾ける毎朝の礼拝。子どもたちは、礼拝で語られる言葉や問いかけから、スクール・モットー“Mastery for Service”(社会と人のために、自らを鍛える)の精神を学び、「生きること」に静かに向き合います。この時間が人生のさまざまな困難を乗り越えていく力となり、人や社会を思いやる豊かな心を育てていくと考えています。



聖書の時間



聖書の教を学び、
たくましく思いやりある人間へ

聖書の授業では、一人ひとりの存在価値や他者愛を愛して生きることを学びます。聖者の言葉は、人生のさまざまな場面で勇気や希望を与えてくれます。この授業を通して、子どもたちは力強く生きるためのたくましさと思いやりの心を育みます。

自然体験
キャンプ



自然の中で聖書の言葉に触れ、
静かに自分を振り返る

日常生活を離れ、豊かな自然の中で聖書の言葉に触れる体験や、さまざまなプログラムから、新たな発見や気づきを得た子どもたちは、ひとまわり大きく成長します。

VOICE

こころの時間に上級生のお話を聞くと、同じような経験をしている人がいる一方、自分とは違った考え方や受け取り方があるのだと知ることができます。聖書のお話は、自分を振り返るきっかけになり、学んだ知識が自分の生活に役立ちます。私にとって楽しくて大好きな時間です。



世界市民の一步をふみだす。

Global | 国際理解 |

カナダ・
コミュニケーション・
ツアー
(CCT)



異なる言語や文化に触れ、
世界市民としての基礎を養う

世界市民としての基礎を養う初等部では、英語でのコミュニケーション力、国際感覚、豊かな感性を伸ばす集大成として、6年生を対象に「カナダ・コミュニケーション・ツアー(CCT)」を実施。姉妹校Hollyburn Elementary Schoolの児童や現地の方々と交流する中で、文化や環境が異なる相手の思いを正しく理解し、英語で自分の思いを伝えることの難しさや大切さを学びます。



CA(カルチュラル・アンバサダー)さんとバンクーバーにあるスチーム・クロックを探しに行きました。美しい街並みを楽しむなど、貴重な体験は思い出に残っています。



とてもフレンドリーなCAさんと宿泊先の1つであった大学の構内を歩きました。カナダについていろいろなことを教えてもらい、楽しい時間を過ごしました。



現地の方と、漢字やひらがななど、日本の文化についてジェスチャーを交えて話しました。言葉をどう使うかだけでなく、伝えようという気持ちが大切なんだと実感しました。



ホストファミリーはとてもやさしく、手作りのピザを用意してくれたり、海に連れて行ってくれたり、親切に私たちに気をかけてくださいました。

VOICE

毎日ネイティブの先生とお話するため、自然と英語力が身につく、楽しく英語を覚えることができます。TT(team teaching)の日本人の先生は、さまざまなことをサポートしてくださるので、安心して授業を受けています。

毎日英語と触れる



6年間の英語指導で、
基礎から応用までを身につける

1・2年生は毎日20分、3年生以上は45分授業を週3回、20分授業を週2回実施。英語に慣れ親しむ機会を多く設けることで、6年間で英語の基礎力から応用力までを身につけます。

TT
(team
teaching)



2か国語を掛け合わせ、
効果的に英語力を養う

ネイティブ教員による生の英語と日本人教員の日本語によるポイント解説を組み合わせ、効果的な学習を進めます。また、少人数での学習を常時行うことで、一人ひとりの知識の定着を図ります。



SDGs Report

奉仕活動

清掃活動を通して、
感謝の気持ちをかたちに

児童と保護者で通学路の清掃を行います。自分たちの手できれいにすることで、清掃の大切さや大変さを実感すると共に、普段お世話になっている地域の方々への感謝の心が芽生えます。



関西学院大学
留学生と
交流



留学生とのコミュニケーションが、
世界へと視野を広げる機会に

4・5年生は関西学院大学の留学生とランチタイムなどに英語で交流を行います。さまざまな国籍の学生とのコミュニケーションを体験することで、他国との文化や環境、考え方の違いを学びます。

英語
検定



自ら高い目標を設定し、
実用英語技能検定(英検)に挑戦

子どもたちの英語への関心を高めることをめざし、本校を準会場として毎年1回英検を実施しています。5・6年生は全員、1~4年生は希望者が受験。より高い級の取得を目標に定め、互いに励まし合いながらチャレンジしています。



Universal | 全員参加・理解 |

全員で「わかる」。全員で「助け合う」授業。



発言しやすい教室づくりで、
他者意識を高める

子どもたちが常に「よりよい私たち」をめざせるように、お互いのかかり合いの質を高め、他者に共感する能力や思いやりの心を育みます。そのためには、子どもが安心して授業に参加できる環境とすることが重要です。答えを間違えても肯定的に受け止め、それを新たな学びを生み出さかへとするなど、子どもが安心してアウトプットできる教室づくりをめざしています。

VOICE
授業ではいつもほぼ全員の手が上がり、たくさんの意見が出ます。一人ひとりの考えは個性的で面白く、意外な発見もありワクワクします。隣の席同士やグループでの活動も多く、いろいろな考えに触れる中で絆が生まれ、クラス全体がより一層仲良くなります。



本物を知る。自分を知る。

Authentic | 本物 |



平和の尊さを学び、
心のつながりを体験する

5年生では平和を学ぶ旅として被爆地である広島を訪問。平和記念公園のさまざまな施設や記念物を見学したり講話を聞いたりして、「戦争」を自分の体で感じ取り、平和の尊さを学びます。また、広島県江田島市の皆様のご協力のもと民泊を体験。各民泊先で住民の方と交流することで、温かい心のつながりを実感します。

SDGs Report

1 教員の声

4 質の高い教育をみんなに

かわり合いを通じて
児童の成長を導く

子どもたちは他者とのかわり合いを通じて大きく成長します。授業では「一人」の考えが「全体」に広がり、また「一人」にかえていく場を設定。自分と向き合う時間、ペアやグループ、クラス全体で考えを練り合う時間、相手の意見を受けて自らの考えを再構築する時間を設けて、学びの定着を図っているのです。さらに、自分を受け止めてもらえる安心感が生まれ、学習意欲が向上。「皆で高め合っている」と全員が実感できるような場づくりを常に心がけています。

山根 真由美 教諭

SDGs Report

15 陸の豊かさも守ろう

自然体験キャンプ

豊かな自然の中で、
自分自身の成長を実感

関西学院千刈キャンプで行われる自然体験キャンプでは、3年生の子どもたちが自然体験プログラムやザリガニ狩り、キャンプファイヤーなどに挑戦。自分の役割を意識しながら仲間と協力して生活することで、新しい自分に出会うことができます。

田植え体験

田植え体験を通して、
新しい学びを得る

5年生の子どもたちは、農業への理解を深めるために、関西学院同窓会の皆様のご指導のもと田植えを体験します。自分の手で苗を植える貴重な経験は、食の大切さを学ぶよい機会となっています。

KGSO

大学生との交流を通して学ぶ、
「本物」のスポーツ

3年生から、関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を受講します。子どもたちは、大学生アスリートたちによるプロさながらのプレーを観戦。自身も一緒にプレーすることで、「本物」のスポーツの楽しさを学びます。

音楽祭

心をひとつにして
感動の舞台をつくりあげる

「届けよう心のハーモニー」をスローガンに、毎年11月に音楽祭を開催します。合唱や器楽演奏など、各学年が練習の成果をチャペルや中央講堂で発表。児童全員で目標に向かって支え合う中で、仲間という存在の大切さを実感します。

宝塚歌劇鑑賞

地元宝塚で過ごす
夢のような時間

6年生は卒業の思い出の1つとして、宝塚歌劇を鑑賞します。子どもたちはタカラジェンヌの歌や芝居、ダンスなど、磨き上げられたプロの技に触れることで、地元の文化の素晴らしさを体感します。

文化芸術教室

演劇、ミュージカル、合唱など
さまざまな芸術に触れる

全学年で毎年違う内容の芸術公演を鑑賞します。子どもたちは専門家のパフォーマンスを通じて、それぞれの芸術の魅力を実感します。



**学びの内容を整理しながら、
さまざまな表現力を
身につける**

学習の節目において、学んだことを振り返り、それを自分の言葉で表現します。時には文章だけでなくイラストや図解を入れるなど、創意工夫を凝らし、わかりやすく表現する力を養います。

**相手にわかりやすく
伝えることが、
思考の整理に役立つ**

授業では、子どもたちが教室の前に立ち、友達に対して自分の考えを説明する機会を多く設けています。これによって、「物事を論理的に思考し、整理する力」が身につきます。

深化を続ける関学の学び

ICT教育



ICTを活用した
新たな教育の在り方

社会の情報化が急速に進む中、教育においても「ICT(情報通信技術)」が積極的に導入されています。初等部では、各教室および特別教室にプロジェクター、PC、書画カメラ、AppleTVなどを配備。主要教科においてはデジタル教科書を用いて、日々の学習に効果的に活用しています。



VOICE

1人1台のiPadを使っています。配布される資料やテキストが見やすくなるだけでなく、1人で集中して考えることができます。また「ロイロノート・スクール」を使って友達と考えを共有することで、自分の考えに自信がもてたり新しい考えを発見できたりしています。



5教科



「なぜ」を追究する姿勢が
学びの理解を深める

初等部では教科を問わず、「なぜそうなのか」「それぞれの知識や事象がどうつながるのか」を追究することを大切にしています。各教科で身につけた知識と知識を結びつけて考え、学びを活用する力を習得。与えられた問題を自分の力で解決する姿勢を身につけることは、より深い理解につながります。

各教科の
特色

算数

算数の楽しさを感じながら、「数量や図形についての概念や性質」を考察する力を身につけ、学力の確かな定着を図ります。

理科

机上の学びだけでなく、実験や観察などを体験することで、科学的な思考力や判断力を培います。同時に、身の周りの現象、自然への関心や問題意識を高めます。

国語

低学年では内容を正確に読み取ること、高学年では理解した内容を自ら表現することを通じて、学びの理解を深めます。

英語

学年に応じて、段階的に語彙や4技能を習得します。将来に役立つ英語力の基礎と、積極的なコミュニケーション力が身につきます。

社会

グローバルな視点で物事を考える力を養うと共に、主体的に社会とかかわり、他者の気持ちに寄り添い判断する力を習得します。



Point 1 児童全員が
1台ずつiPadを所有

児童全員に1台ずつiPadを提供しています。「ロイロノート・スクール」などのアプリを活用することで、教師と児童、あるいは児童同士が自らの意見を交換し合う双方向型のやり取りが活発化。児童の主体性を育むことはもちろん、協働学習の促進にもつながっています。



Point 2 全国初
「スタディサプリENGLISH」の導入

5・6年生の授業および家庭学習を対象に、「小学校としては全国で初めて」スタディサプリENGLISHを導入しました。本来中学生を対象とするこのアプリは、ゲーム感覚で楽しみながら、自分のレベルにあった内容を進めることができます。これにより、自分のペースで英語を学ぶ「個に対応」した学習環境を実現しています。

教員
研修



よりよい授業環境を
めざす



子ども同士のかかわり合いの質を高めるためには授業がどうあるべきか、理想の学びに向き合う教員研修に力を入れています。各教員が互いに授業を公開し評価し合う授業検討会や、読書会、勉強会などを積極的に行うことで、よりよい学びの場づくりをめざします。

実力
テスト



自分の学力レベルを
見極める

自分の学力レベルを測るため、年に1回、3学期に全国的テストに挑戦します。毎学期行われる期末テストと合わせて、1年間で身につけた学力を自分自身で確認し、今後の学習目標の設定を行います。

教科
担任制



それぞれの教科を
専門的に学ぶ

1~4年生は音楽、図工、聖書、理科、生活科、英語の授業、5・6年生は国語、算数を含めた科目で教科担任制を採用しています。専門性の高い授業で、中学部への進学を見据えた応用的な内容にも取り組みます。

関学での1日 [安全・安心への取り組み]

登校



警備員、PTAに見守られながら、毎朝元気に登校。社会の一員として、ルールやマナーを身につけます。耐震性、防犯性に配慮し、万全の安全対策を施した校舎が子どもたちの学校生活を守ります。

登校時の感染防止対策

感染防止対策として、校舎へ入る前に検温と手指消毒を徹底しています。万が一、発熱や風邪の症状があった場合は、速やかに保健室にて対応いたします。

また、各教室には二酸化炭素濃度測定器を設置し、こまめな換気を徹底しています。



フリータイム



校庭や芝生で、友達と元気に遊びます。自分たちで遊びを創造することも大切な学びの一つです。

メディアセンターの感染防止対策

密を避けるため、カウンターに並ぶときに立つ場所を色違いのカーペットで示しています。また、カウンターに透明なシートを設置することで、感染を防止します。



授業



午前中は45分の授業を1~4限まで実施。午後は学年に応じて、5~7限の授業を実施します。

ソーシャルディスタンスを確保した教室



初等部の教室は、広さが標準的な教室の2倍あり、席の間隔を広くしてディスタンスを確保することが可能。児童机は左右だけでなく前後の距離も空けて配置しています。また、換気扇の強さに加え、風が教室の窓から中庭に抜けていく構造で、常に空気が循環する環境を実現しています。

下校



正門前から続く木々でできたアーチを抜けて、友達と仲良く下校します。

安全面の取り組み



ミマモルメ

全児童が携帯するICタグを通して、正門を通過すると子どもたちの登下校の情報が学校・保護者にメールで配信されます。緊急連絡時には、指定のメールアドレスに連絡できるなど、迅速かつ確実な情報伝達を行える環境を整えています。



避難訓練

地震、水害、火災などさまざまな状況を想定した避難訓練を毎学期実施。万一の事態に対応できるよう、子どもたちも真剣に取り組んでいます。

8:00 8:40 9:00~午前の授業

12:40 13:05 13:25~午後の授業

15:15 16:00

こころの時間



一日のはじまりは「ベーツチャペル」での礼拝からスタート。聖書の言葉に耳を傾け、讃美歌を歌います。

チャペルと教室に分かれて実施



感染予防対策のため、チャペルには各クラスが交代で入室。他のクラスの子供たちは映像を通して礼拝を守ります。場所は異なりますが、全校児童が心一つにして祈りをささげています。

ランチタイム



教室やダイニングルーム、芝生でみんなと一緒にランチタイムを過ごします。また、家庭だけでなく学校でも食育について学びを深めるため、お弁当を持参していただくよう各家庭にお願いしています(外部業者へのサンドイッチ・お弁当注文制度もあります)。

自動感知式水道

子どもたちは教室に入る前に、各教室前の水道で必ず手を洗います。水道は自動感知式で、蛇口に触れることなく手洗いが可能です。

※冬季は温水となります。



クリーンタイム

掃除の習慣を身につけると同時に、役割分担しながら協働する大切さを学びます。



放課後



メディアセンターで本を読んだり、クラブ活動に参加したりと、思い思いの時間を過ごします。

関西学院 CRESCENT SCHOOL

関西学院大学西宮北口キャンパス「NISHIKITA CROSS」に「関西学院CRESCENT SCHOOL」を開校しました。最長20時まで延長お預かりすることができ、子どもたちにとって放課後の居場所の一つとなっています。長期休暇中や一時的なお預かりにも対応しています。

ネイティブ講師と交流し、高い英語力を身につける

当スクールでは外国人の先生の英語に触れる時間を設けています。先生とゲームやクイズ、読書しながら日常的に英語に触れ、慣れ親しむことで、幼少期だからこそ可能な英語耳を養うことができます。

多種多様な体験を通して、夢中になれることに出会える

英語や芸術、プログラミングなど、各分野のプロフェッショナルである講師陣のもと、子どもたちは興味のあることに自由に挑戦。本気で取り組む中で、自分自身の得意分野を見出すことができます。

お問い合わせ先 TEL:0798-81-3378



時間割

各教科等の週あたり授業時数

2023年度/前期A 週:月曜日から土曜日まで授業実施の場合

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	10	10	8	8	6	6
社会	-	-	2	3	3	3
算数	5.5	7.5	6	6	6	6
理科	-	-	3	3	3	3
生活	3	3	-	-	-	-
音楽	2	2	2	2	2	2
図工	2	2	2	2	2	2
家庭	-	-	-	-	2	2
体育	3	3	3	3	3	3
聖書	1	1	1	1	1	1
英語	20分×5	20分×5	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2
学活	1	1	1	1	1	1
総合	-	-	1	1	1	1
クラブ・委員会	-	-	-	1/2	1	1
こころの時間	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5

時程表

始業	8:25
朝の会	8:25~8:35
こころの時間	8:40~8:55
1限	9:00~9:45
2限	9:55~10:40
	通常授業時程 7時間授業時程
フリータイム	10:40~10:55
3限	11:00~11:45
4限	11:55~12:40
昼礼・ランチタイム	12:40~13:05
フリータイム	13:05~13:20 -
クリーンタイム	- 13:05~13:20
5限	13:25~14:10
6限	14:20~15:05
7限	- 15:15~16:00
5限までの時	14:10~14:20
終礼	15:05~15:15
6限までの時	- 16:00~16:10
7限までの時	- -
最終下校	16:00(5限終了時は15:00) -

「きょうの初等部」

初等部HPでは日々の暮らしをブログ形式で紹介しています。



カウンセリング

常駐のスクールカウンセラーが子どもたちのさまざまな悩みと向き合い、一緒に解決します。また、保護者の方々のご相談にも迅速かつ丁寧に対応しています。

※児童と保護者を対象にした完全予約制で、プライバシーにも配慮しています。



関学での1年 *One year*



Spring 春

4月

- 入学式
- 1学期始業礼拝
- 新入生を迎える会
- 地区集会
- なかよし集会
- 健康診断
- 身体計測
- イースター礼拝
- 交通安全教室
- 授業参観・学級懇談会*
- PTA総会*



5月

- 体育祭
- なかよし遠足
- 自然体験キャンプ
- 避難訓練(火災)
- 6年カナダ・コミュニケーション・ツアー
- 個人懇談会*
- ペンテコステ礼拝



6月

- 5年田植体験学習
- 春季宗教週間
- 花の日礼拝
- 聖書講座・授業参観*
- 1年版急電車西宮車庫見学



7月

- 水泳教室
- 学期末テスト
- 自然体験キャンプ
- 1学期終業礼拝
- 家庭訪問
- 個人懇談会*
- 教育講座*



8月

- 夏期休暇



9月

- 2学期始業礼拝
- 創立記念礼拝
- 身体計測
- 授業参観・学級懇談会*



Autumn 秋

10月

- 命を守る学習(防犯)
- 校外学習
- 聖書講座*
- 秋季宗教週間



11月

- 音楽祭
- 収穫感謝礼拝
- 教育講座*
- 5年平和を学ぶ旅



12月

- 学期末テスト
- クリスマス礼拝
- 2学期終業礼拝
- 個人懇談会*



Winter 冬

1月

- 3学期始業礼拝
- 身体計測
- 避難訓練(地震)
- 授業参観*
- 教育講座*
- 作品展
- マラソン大会



2月

- 作品展
- 聖書講座*
- 文化芸術教室



3月

- 学期末テスト
- 卒業生を送る会
- 卒業式
- 修了礼拝
- 授業参観・学級懇談会*



※保護者対象です。

制服紹介

本学指定の制服を着用いただきます。濃紺と白を基調とした制服。品位と機能性を追求したデザインです。



合服



夏服



冬服

学校基礎データ

児童数	540人(男252人 女288人) 1学年/3クラス 1クラス/30人
教員数	31人(他、講師15人)

(2023年3月1日現在)

学費・その他諸経費(年額)/2023年度

学費	授業料	800,000円	1,000,000円
	教育充実費	200,000円	
	教材・学年宿泊行事等前納金	52,000円	
その他の諸費	図書購入費	1,000円	141,000円
	ICT関連費	10,000円	
	PTA会費	15,000円	
	修学旅行費積立金	60,000円	
	後援会費	3,000円	
合計			1,141,000円

※これらの他に、制服・体操服・iPad等の制定品費が別途必要となります。詳細は入学時にお知らせします。

関西学院の施設



ベーツチャペル
毎日の礼拝を行う厳かな雰囲気にもまれたチャペルです。



運動場
全面に人工芝を敷設したグラウンド。休み時間には笑顔と元気な声で満ちています。



体育館(空調完備)
全学年が収容可能な体育館。夏季の熱中症対策として、2019年度より空調が備わり、快適な授業環境を提供しています。



メディアセンター
3万冊以上の蔵書を誇るオープンスペース。洋書を片手にネイティブ教員と話す光景も見られます。



ダイニングルーム
月に一度、児童たちが互いに誕生日を祝うための、学年別カレー会食もここで行われます。



カウンセリングルーム
専門のカウンセラーが、問題をすばやくキャッチし、教師と共に迅速に問題解決に努めます。



和室
茶道や百人一首など日本の伝統文化を学びます。



音楽室
ピアノはもちろん、トーンチャイムや民族楽器までさまざまな楽器を備えています。



図工室
陶芸専用の電気窯も備えるなど、幅広い活動が可能です。



メイブルーム
英語など少人数制できめ細かな授業を行います。



教室
電子情報ボードを完備。視覚的趣向を凝らした授業を展開しています。



理科室
専科教諭の指導のもと、実験や観察など児童の科学への興味をひきだします。

関西学院併設校紹介

関西学院大学

社会に貢献する「世界市民」をめざし、幅広い知識と深い専門性を身につける

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題発見・解決能力、実行力を養成。思いやりと高潔さを持って「Mastery for Service」を体現し、地域社会・国際社会の発展に寄与する「世界市民」としての資質を身につけます。



聖和短期大学

保育に関する専門知識と実践力で、子どもの幸せに貢献できる保育者を養成

少人数授業やアドバイザー制度など、きめ細かい教育を実施。3つのH(Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践)を大切にすることを教育の理念とし、専門性と実践力を持つ保育者を育てます。



高等部

多様なカリキュラムを通して、総合的な人間性を育む

大学や社会に必要な学力や教養を育成するためのさまざまなカリキュラムを展開。普段の学びの他に、キリスト教教育、人権教育、課外活動を積極的に行うことで、総合的な人間性を醸成します。



千里国際高等部(SIS)

中等部で作った基礎力をベースに、進路・興味に合った授業を履修

「5つのリスペクト」という行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時間割システムで学ぶ意欲を引き出します。



中学部

5つの学びを柱とし、「感謝・祈り・練達」を理念とした全人教育

キリスト教主義教育・読書・英語・体育・芸術を教育の柱として、受験勉強に縛られない、豊かな学びを実施。確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕する実践力を養います。



千里国際中等部(SIS)

国際色豊かな環境で最先端の教育活動を展開

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環境の中で、「知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人」の育成を図ります。



関西学院初等部

関西学院全体で初等部をサポート

中学部・高等部との交流



中学部・高等部の生徒による初等部訪問や中学部の授業見学など、双方の交流の機会を設けています。早期から進学後の発展的な学びの意識を持たせると共に、広い社会性を身につけるきっかけとなっています。

KGSO Kwansei Gakuin Sports Omnibus

関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を3年生からを対象に実施しています。詳しくはP.08へ

関西学院大学留学生と交流

4・5年生は、関西学院大学の留学生と交流を行います。詳しくはP.06へ



関西学院という恵まれた環境のもと
主体性と協調性が養われた。

関西学院大学 教育学部 4回生
大谷 浩介 さん
小学校教員就職予定



初等部
時代

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
6年生の体育祭で、組体操を成功させたことが一番印象に残っています。男子45人タワーは練習で一度も成功しておらず不安がありましたが、本番では男女それぞれのタワー、そして90人ピラミッドもミスなく完成。皆が一致団結した瞬間であり、当時感じた達成感は今でも忘れられません。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
中学部と高等部では野球部に全力で取り組みました。特に高等部では、130人も部員がいる中で、チームのためにできることを考えて日々実践。部活動でたくさんの人と交流し生活することで養われた主体性と協調性は、今の自分にとって大きな財産になっています。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
4月からは小学校教員としての生活が始まります。子どもたちに対して多大な影響力をもつ職業であり、その分責任も大きいです。大変なこともあると思いますが、野球部で培ってきた根性と、憧れの職業についている誇りを忘れず、“Mastery for Service”を体現できる教員へと成長していきたいです。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
「初等部の頃からもっと英語を頑張っていれば」「もっと読書の習慣がついていれば」と考えることがあり、何事も早く始める方がよいと実感しています。初等部、そして中学部、高等部、大学には皆さんの挑戦を応援してくれる仲間や施設がそろっています。さまざまなことにチャレンジし、経験を積み、充実した学校生活を送ってください。



初等部での豊富な経験が
今のわたしを形成している。

大阪大学 医学部 4回生
渥美 莉子 さん
医学部在籍中



初等部
時代

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
毎朝の礼拝が最も印象に残っています。一日に一回心を落ち着かせているいろいろな人の話に耳を傾けることはよい経験であり、「礼拝での話が今後生きてくる」という部長先生の言葉は真実だったと実感しています。また、関西学院の先輩である日野原重明先生のお話を聞く機会が、医師に憧れるきっかけとなりました。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
医師をめざすために他校に進学しました。中学では部活のバレーボールに熱中したり、高校では療養プログラムや数学甲子園などさまざまな活動に参加したりと、充実した学生生活を送りました。また、大学では勉強はもちろん、「今しかできないことをしよう!」と遊びにも全力で取り組んでいます。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
現在は医学部4年生として勉強に励んでいます。1月からは病院実習が始まり、今まで以上に責任感とやりがいを感じる毎日です。周りの同級生が先に社会人になっていくことを少し寂しく思いつつ、残り2年間、自分の選んだ道で精進していきます。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
初等部での経験は、今の私を形成する大切な一部です。「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」という言葉に胸に、皆さんもたくさんの方に挑戦してください。その経験が必ずや将来の糧になるはず。私自身、生まれ変わってまた関西学院初等部に入学したいと思います!

関学ファミリーからのメッセージ



初等部
時代

関西学院大学 人間福祉学部 4回生
田中 亜美 さん
卸売業界就職予定



“Mastery for Service”の精神をもつ
社会に出た後も日々成長していきたい。

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
体育祭はとても思い出深いです。競技種目では勝つために策を練ったり、演舞種目では学年で一つのものを作り上げる為に時間をかけて練習したりしました。特に90人ピラミッドが成功した時は達成感がありました。また、体を動かす事が好きだったため、選抜リレーに何度も出場することができたことも印象深いです。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
高等部ではサービスマンズ(チアリーダー)に所属、大学でも応援団総部チアリーダー部に所属し応援活動に注力。初等部のキッズチアの指導に何度も足を運びOGとして感慨深い時間でした。また、体を動かす事の楽しさを学びにするため、人間福祉学部に進学し保健体育科の教員免許取得に向け勉学にも励みました。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
4月からは社会人への一歩を踏み出します。右も左も分からない中ではありますが、これまでの経験を活かし、社会に貢献ができるよう“Mastery for Service”の精神を忘れずに日々成長していきたいです。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
自分がやりたいと興味をもったこと、続けられると思ったことに挑戦してください。また、初等部での友達・仲間を大切にしてください。これからたくさん悩んだり、壁にぶつかったりした時に友達はあなたの心の拠り所・支えになってくれます。最後に、初等部での学びを楽しんでください。今の環境が当たり前と思うのではなく、感謝の心と謙虚さをもって成長して欲しいと思います。



初等部
時代

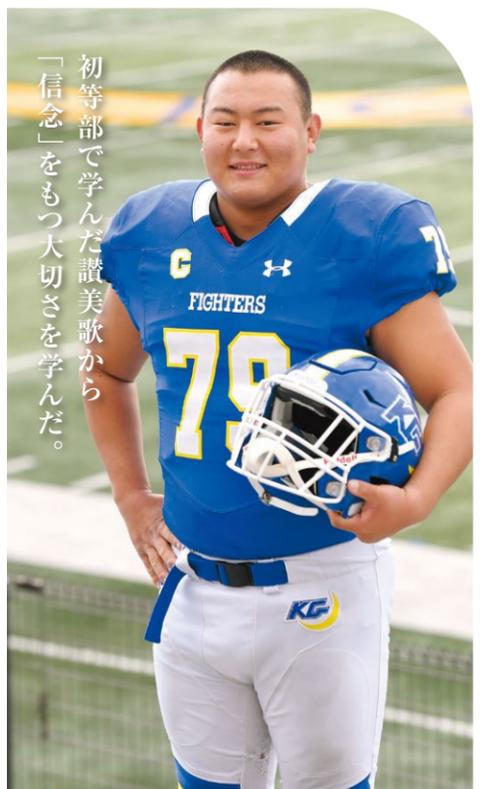
関西学院大学 経済学部 4回生
占部 雄軌 さん
金融業界就職予定

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
特に心に残っているのは音楽の授業です。たくさん歌って、演奏して、音楽の楽しさを教えてもらいました。また、授業では讃美歌を歌うことが多く、音楽を通して聖書の教を学ぶよい機会になりました。苦しいときは讃美歌に何度も勇気づけられ、自分の人生の支えになったと感じています。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
中学部・高等部ではラグビー部に所属し、中高を通じて主将を務めました。大学ではアメリカンフットボール部に入学し、4年次は主将として史上3度目の大学日本一5連覇に挑戦。徹底してやりきるという思いを込めて「Drive」というスローガンを決めました。自分たちのこだわりを「Drive」したことで、5連覇を達成できたと思います。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
4月からは社会人として働きます。15年間お世話になった関西学院を離れることは不安に思いますが、“Mastery for Service”を胸に、常に成長し社会に貢献できる人間になります。

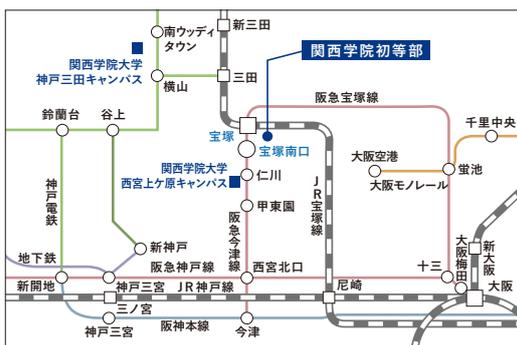
Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
『讃美歌21』60番には、「なまえもしらない野の花も神様は咲かせてくださる」という歌詞があります。この言葉の通り、自分を強くもって行動する「信念」があれば、いつか必ず目標を達成できると信じています。今いる環境で成長できるか、逆境を乗り越えられるかはすべて自分次第です。皆さんも「信念」をもって頑張ってください。



初等部で学んだ讃美歌から
「信念」をもつ大切さを学んだ。

Access

阪急電鉄「宝塚」駅下車1,100m／阪急電鉄「宝塚南口」駅下車800m
JR「宝塚」駅下車1,200m



Event

入試イベントスケジュール

入試イベントの詳細および
お申込みは、こちらまで



体験授業 》 2023年 2月25日(土)

学校説明会(上ヶ原) 》 2023年 4月15日(土)

授業参観+個別相談会 》 2023年 5月13日(土)

入試説明会+個別相談会 》 2023年 6月24日(土)

A入試 》 2023年 9月11日(月)

B入試 》 2023年 10月14日(土)

※ただし、感染症の状況によって、開催方法や内容の変更および中止の可能性があります。



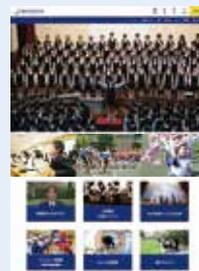
小学校入学準備のための
お役立ち情報を配信しています。



学校、そして児童の日常を 知っていただくために

関西学院初等部のHPでは、入試情報のほか、毎日の学校の様子を紹介する「きょうの初等部」、学校長による「校長ブログ」など、さまざまなコンテンツを通して児童の日常生活や学校の雰囲気をお届けしています。

関西学院初等部ホームページ <https://es.kwansei.ac.jp>



関西学院初等部

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27

TEL:0797-81-5500

FAX:0797-81-5010

E-mail:shotoubu@kwansei.ac.jp